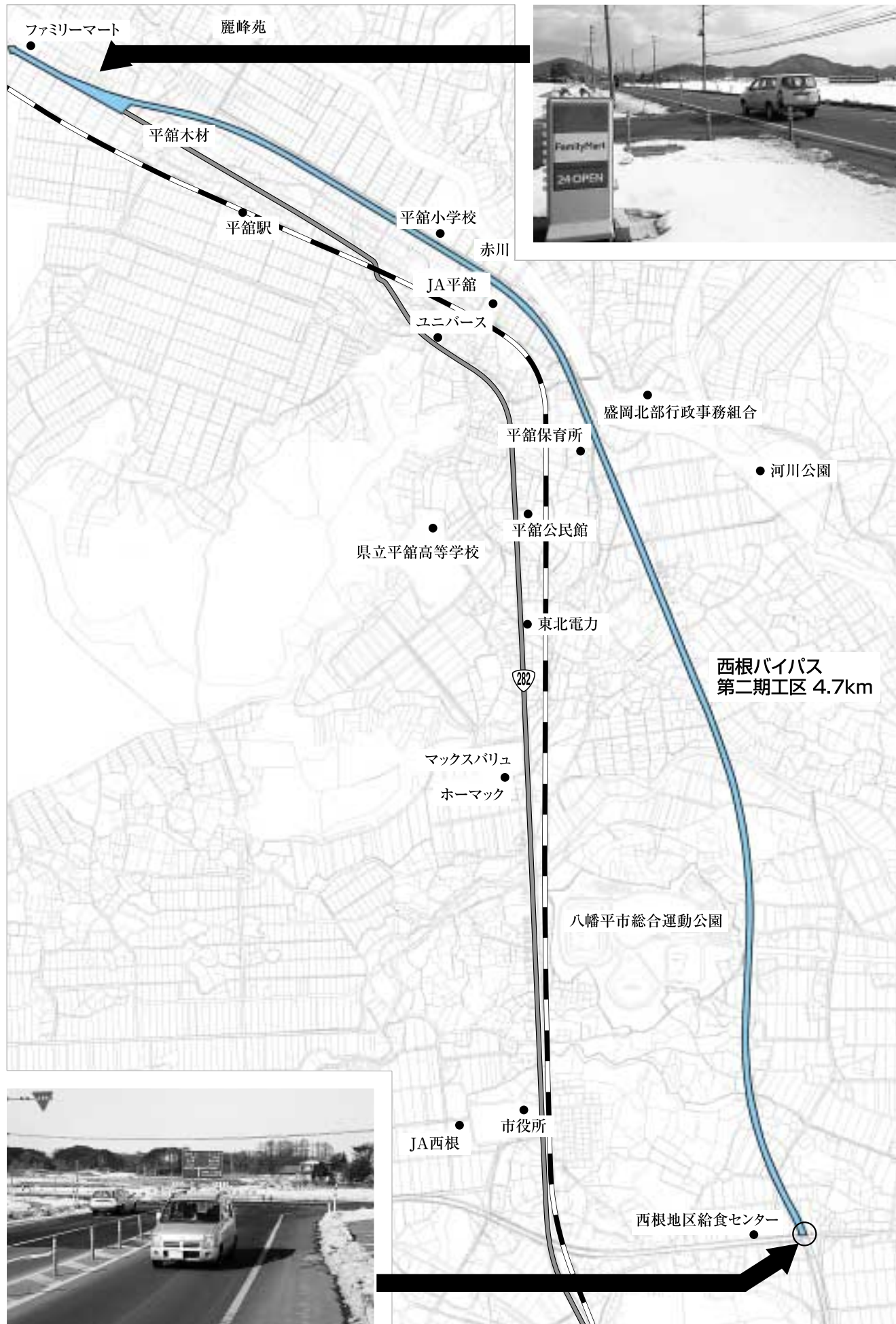


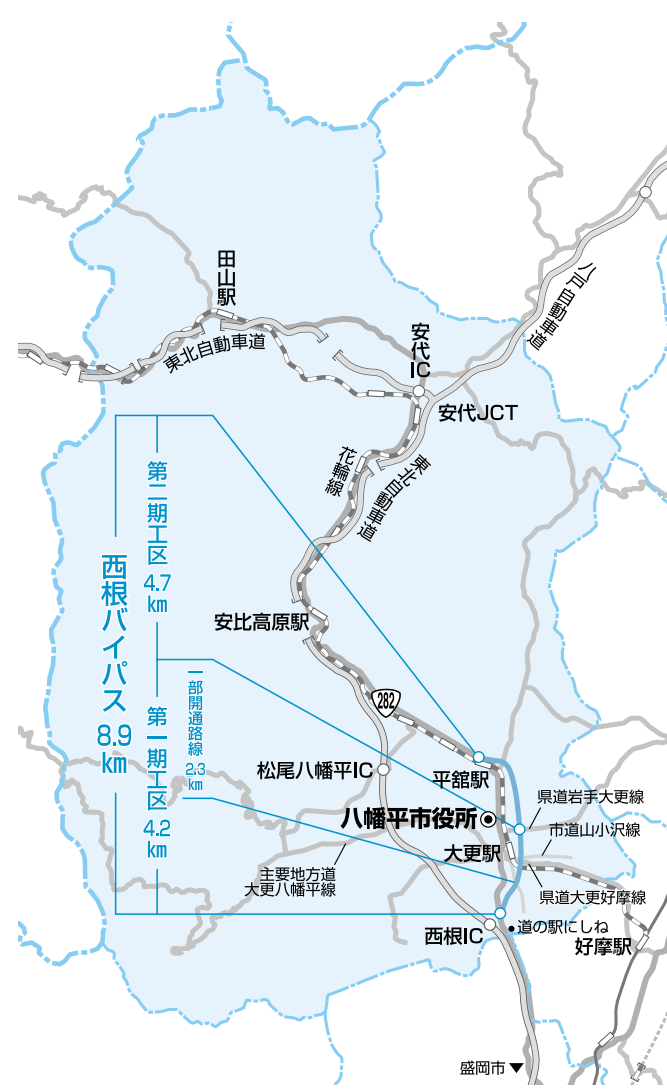
【図2】 西根バイパス第2期工区・平成6年西根都市計画道路図



# 国道 282号

# 西根バイパスの 早期完成を願う

【図1】 西根バイパス位置図



**整備促進協議会の設立に向けて発起人会立ち上げ**

市は2月7日、西根地区市民センターで国道282号西根バイパス第2期工区の住民説明会を行いました。

説明会には、道路整備が予定されている地域住民や、地権者など約170人が出席。席上で田村正彦市長は「西根バイパスは市のまちづくりに必要な重要路線です。第1期工区は、昨年の部分開通までに10年以上要したことを反省し、第2期工区は、地権者を含めた組織を立ち上げ、早期開

通を国や県に要望したい」とあいさつしました。

市の担当から旧西根町が都市計画に位置付けた道路について説明。道路整備の事業主体となる県と用地交渉や整備要望などを行うために、整備促進協議会を設立することで、住民と合意しました。同協議会は本年度内に発足することとし、住民などの代表22人で、発起人会を立ち上げました。

平成6年に着手した西根バイパス第1期工区は当初計画より大幅に遅れました。これを踏まえて、第2期工区では整備促進協議会を設立し、協議会で皆さんの意見・要望を

**第2期工区ルートに  
市民の関心が高まる**

集約しながら円滑化を図り、早期開通を目指します。

**バイパス総延長は約9キロ  
国道282号東側に整備**

西根バイパスは、国道282号東側を南北に迂回する路線(図1を参照)。平成6年に都市計画決定された、総延長8.9キロの道路です。第1期工区は、東北自動車道西根イン

**西根バイパス第1期工区  
平成20年の春に暫定開通**

第1期工区は、県道岩手大更線までの2.3キロが部分開通しています。20年春には残りも暫定開通する見込みです。第2期工区は、19年度に一部区間の詳細設計に入る予定です。詳しくは、市産業建設部建設課(☎76-21111、内線1271)まで。

ターチェンジ付近から県道岩手大更線までを結ぶ4.2キロ。同地点から平館地区を経由して国道282号をつなぐルートが第2期工区4.7キロ(図2を参照)として計画されています。

国道282号は、大更や平館の一部で道路幅が狭く、住宅や商店が密集する地域を通り過ぎます。この区間には、中央線や歩道がない場所、見通しの悪い急カーブがあるほか、行楽期には八幡平や安比高原へ向かう車で起こる交通渋滞などを解消しようと、西根バイパスが計画されました。